

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスくれよん (ひらの)		公表日		2025年 4月 26日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		職員の配置数は適切である。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		トイレ・静養室等、フロアを大きく使用している。また児童への情報や連絡事項に関しても一か所に集約している。入り口の段差はスロープをその都度設置して対応している。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		日々の清掃、消毒等から安全確認や衛生環境の維持に努めている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		静養室以外にフロア内に個室を設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		当該職員と指導職員のペアにて法人のOJTに取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		評価表より、事業所行事の新規企画の立案や書類の様式変更等、改善に向けて取り組むことができている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		人事考課やOJT、アンケート等で把握の機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		新任研修や実習生からの意見から不定期の評価は実施している。第三者評価は任意ではあるが、数年同じ課題となっているため、法人として検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		法人研修や研修案内の掲示等、機会が確保されている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		話し合い・検討の上、事業所として支援で大切にしていることをまとめ公表できている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		利用開始時や懇談を通してその都度計画を作成している。また家庭訪問には児童発達支援管理責任者と担当職員の2名以上としている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		職員が参加するケース会議で周知や共通理解を図っている。またこどもの担当職員との話し合いから意見を交え、作成できるように努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		計画に沿った支援は心がけている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		事業所として新しくフォーマルなアセスメント様式を用いながらこどもの適応行動の状況の把握に努めている。また、インフォーマルなアセスメントは引き続き取り組んでいく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		今年度より新しい様式を用いている。それに伴い以前の計画を見直し立案することでより具体的な計画を作成している。しかし、「移行支援」「地域支援・地域連携」については取り組みに課題があるため、積極的な働きかけから支援に繋げたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		平日については土曜日の終礼時、長期休業の際には事前に話し合いから立案をおこなっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		過去の行事や集団遊び等を振り返り、活動プログラムが固定化しないように工夫をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		設定保育（集団遊び）の時間を必ず取り入れている。また自由遊びや宿題等こどものやりとりから個別活動に反映している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の支援についてはリーダー、フォローの役割を順番で振り分けており、2名を中心に全体で確認し合い、連携が図れるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼の際には特にこどもの気持ちの動静や理由、また支援者のこどもへの関わり方について振り返り、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録方法に関してはICT化へ変更し、こどもの状況について現在と過去の比較や避けることが簡単におこなえ、ケースの検証や改善に繋げることができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回以上のモニタリングに加え、年1回以上のケース会議にて目標や課題の見直しを適切におこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日々の複数組み合わせ支援をおこなっている。	③地域交流の機会の提供に関しては課題があるため、行事の企画や積極的に参加できるように検討する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつや自由遊び等の際に自己決定については意識している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当職員が出席するよう心がけており、記録、全体への周知もおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援専門員を中心として取り組んでいる。また可能な限りこどもに関係している機関と連携は取れるように努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			こどもの状況や対応での情報共有が基本的であり、送迎時間や各種行事等の連絡はまだ少ないため、事業所のおたより作成や連絡体制についての話し合い等検討したい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		サポートブックや電話、相談支援専門員等での情報共有と相互理解は少しずつできている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援専門員を中心に担当者会議や引き継ぎ会を実施しこどもの状況をよく理解している児童発達支援管理責任者や担当職員が参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			積極的に事業所として働きかけ、研修や学習の機会を設けられるように検討したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			他事業所との交流はあるが、地域の他のこどもと活動する機会が少ないため、事業所行事の企画や行事の案内等、地域行事への積極的な参加等を検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			協議会の参加を目指して平野区Dの会で交流や学習の機会を設けている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		発達の状況や課題について定期的に話し合いをおこなっている。その上で各家庭の養育観や養育環境の把握に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			日々の引き継ぎや懇談が中心で研修の機会や情報提供等に関して課題を残しているため、各種研修への意識や保護者へのおたより等での周知を検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		管理者、法人事務部より丁寧な説明をおこなっている。	支援プログラムについてはまだ説明はできていない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		新たな様式を用いて順次作成をして説明をおこなっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の送迎時や懇談時におこなっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			昨年10月交流の機会として親子参加の行事を企画したが保護者・きょうだい児とポイントを絞った活動はまだできていないため、意向調査を通して企画を検討したい。(保護者向け研修・きょうだい児と保護者参加の行事等)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者、法人に報・連・相をおこない、迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	1		法人や事業所として定期的な季刊誌発行やSNSでの発信をしている。行事予定や連絡体制等については課題もあるため、事業所のおたより作成等も検討したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			各種通信やショーウィンドウで啓発活動をおこなっているが、事業所行事等での交流の機会はないため、企画を検討したい。(夏祭り・正月行事等)
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルは既存のものがあるが、周知は少ないため、説明の機会を設けたり、いつでも確認閲覧できるような環境を整えられるよう検討したい。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			法人研修にて確認をおこなっているが、現時点で必要な訓練であったり、備蓄等について課題もあるため、法人として十分に検討したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			アセスメントやモニタリング時以外でも通院状況や服薬の変更があった場合はその都度確認をして全体への周知をしている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			保護者からの聞き取りからフェイスシートや法人にて緊急対応時個人情報の作成に向けて取り組んでいる。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			避難訓練やヒヤリハットでの再発防止、安全点検等は日々おこなっているが、安全指導に関しては課題を残しているため、法人として検討したい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画を職員があまり把握できていない。子どもへの取り組みは実践できているように感じるが、保護者への安全指導等は課題を残しているため、取り組みやすい形を検討したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			終礼や職員会議の際に全体で振り返りをおこない再発防止に向けて取り組んでいる。また記録に関してはICT化に伴い、法人も確認できるようになっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			法人内研修にて年2回以上実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			法人研修にて定期的に振り返りや保護者への説明はおこなっている。子どもに対しては難しい部分もあるため、イラストやわかりやすい説明の方法を検討したい。	